

# 第7回 探究型学習研究大会

大会テーマ

## 教科と探究を学びでつなぐ

「教科探究」と「総合的な探究の時間」相互連携による探究の広がり

2023.10.14 土 12:50▶17:15 対面 + オンライン

対象 | 中学・高等学校教員、教育・NPO・自治体関係者

定員 | 対面:100名 / オンライン:250名 事前申込制・参加費無料 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

主催 | 東北芸術工科大学

後援 | 山形県教育委員会・山形市教育委員会・福島県教育委員会・岩手県教育委員会・宮城県教育委員会  
青森県教育委員会・秋田県教育委員会

2022年度より高等学校で全面実施となった「総合的な探究の時間」。各校それぞれに特徴ある探究プログラムを試行、実践され、探究活動の充実に向けてご尽力されていることと思います。

2017年にスタートした探究型学習研究大会は、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための知を共有する場として、今年で第7回を迎えます。これまで各回とも、高等学校の先生方を中心に「総合的な探究(学習)の時間」に関心を持つ多くの参加者が集い(昨年度は約350名の参加、満足度:98.2%)、活発な意見交流を行ってきました。2023年度の研究大会では、中高大教育連携に関わる中で、現場の先生方の課題意識が高いと感じた点にフォーカスし、「教科と探究を学びでつなぐ～「教科探究」と「総合的な探究の時間」相互連携による探究の広がり～」を大会テーマに、講演と実践報告、振り返りワークの構成で実施いたします。

講演では、立命館宇治中学校・高等学校の酒井淳平氏より、実践報告では、福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校の對馬俊晴氏、岩手県立大船渡高等学校の鈴木紗季氏より、各校での総合的な探究の時間および教科探究の取り組みについてお話いただけます。最後の振り返りワークでは、対面会場及びZoomのブレイクアウトルームを使用して「自分の学校だからできること・やってみたいこと」との題目で意見交流の時間をもちます。

上記の講演、報告、振り返りの共有を通して、参加者の皆様が探究型学習をより一層深化させていくためのヒントを掴む機会となりますこと、本大会での知見を各校に持ち帰っていただき、共有、展開していただけますことを祈念いたします。

昨年度の研究大会の様子



本学探究型学習  
協働プロジェクト  
公式サイト



X(旧 Twitter)



Instagram

東北芸術工科大学では、「デザイン思考」を探究的な学習や課題研究に取り組む教育機関で活用できる考え方や捉え、山形県内外の中学校・高等学校と協働しながら、探究型学習のプログラム検討・授業連携等を行っています。

2023年度

# 第7回 探究型学習研究大会

テーマ | 教科と探究を学びでつなぐ

「教科探究」と「総合的な探究の時間」相互連携による探究の広がり

日時 | 2023年10月14日(土) 12:50 ▶ 17:15 **対面** + **オンライン**

## プログラム

12:30 開場・Zoom開室

12:50 開会挨拶

13:00 講演「**探究的な学びデザイン～探究から始まる大きな変化～**」

▼ 講師：酒井 淳平 (立命館宇治中学校・高等学校 教諭)

14:20 探究を共通のキーワードにすることで、生徒はもちろん、教員の授業づくり、学校と地域の関係なども大きく変わります。そして探究は高校と大学もつながります。こうしたことについて総合的な探究の時間や探究的な授業の事例を取り上げ、「なぜ探究なのか」を改めて共に考えたいと思います。

14:30 実践報告1「**『未来創造探究』のこれまでとこれから**」

▼ 報告：対馬 俊晴 (福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 副校長)

15:20 本校は開校して9年目になります。開校当初から「未来創造探究」と称して取り組んできた探究活動の実践内容について紹介いたします。また、今年度から文部科学省WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)に指定され、県内外の高校や大学と連携した探究的な学びについての取り組みを報告いたします。

15:30 実践報告2「**ちょこプロ<sup>※</sup>は探究へのパスポート!**

▼ **～総合探究の知見を活かした探究的な授業づくり～**

16:20 報告：鈴木 紗季 (岩手県立大船渡高等学校 教諭)

「探究する」って生徒だって教員だって難しい。その探究を楽しむために「ちょこプロ」から始めませんか?探究で生徒が変わると、授業も探究的に変わります!それぞれの学校での探究を主軸にした総合的な探究の時間と教科(授業)の往還の可能性を一緒に考えていきたいと思います。

※「ちょこプロ」は「ちょこっとマイプロジェクト」の略です。

16:20 振り返りワーク「**自分の学校だからできること・やってみたいこと**」

17:10 閉会・諸連絡

## 申し込み方法

下記の申込フォームより必要事項を記入の上お申し込みください。



<http://sozo.tuad.ac.jp/information/1709.html>

**申し込みメ切：2023年10月6日(金)**

※定員になり次第締め切らせていただきます。

※参加希望の方で「日程が合わず参加が難しい」という方は、担当者までご相談ください。

※お申し込み受付後、参加に係る詳細をご連絡いたします。

## 会場までのアクセス

・路線バス：JR山形駅東口バスプール5番乗り場から「芸術工科大学前ゆき」約20分です。

・タクシー：山形駅から大学まで約20分、2,000円前後です。

・自動車：本学敷地内の駐車場をご利用ください。

## 緊急時の対応

山形市内で大きな自然災害または感染症の流行拡大等が起こった場合、対面開催を中止し、オンラインのみで開催する場合がございます。

## お問い合わせ

東北芸術工科大学 TEL: 023-627-2218 FAX: 023-627-2081  
〒990-9530 E-mail: y-gakusha@aga.tuad.ac.jp  
山形県山形市上桜田 3-4-5 地域連携推進課 渡邊 康太 (受付:平日9:00-17:15)

## 講師紹介

酒井 淳平 | Sakai Jyunpei

立命館宇治中学校・高等学校 キャリア教育部長。担当教科: 数学  
2008年度から立命館宇治中学校・高等学校でキャリア教育部の立ち上げを行う。2018年度から文科省研究開発学校、2019年度から文科省WWLの指定を受けながら、探究×キャリア教育を大切にしながら総合的な探究の時間のカリキュラム開発に挑戦。著書に「探究的な学びデザイン 高等学校 総合的な探究の時間から教科横断まで」「高等学校新学習指導要領数学の授業づくり」など。



対馬 俊晴 | Tsushima Toshiharu

ふたば未来学園中学校・高等学校 副校長  
担当教科: 物理

相馬高校で文部科学省「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」、安達高校で UNESCO「持続可能な開発のための教育(ESD)」、「OECD 東北スクール」などのプロジェクトを担当し、教頭として福島高校、安積高校でのSSHに関わる。現任校では「ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム支援構築事業」での探究活動を積極的に推進している。

鈴木 紗季 | Suzuki Saki

岩手県立大船渡高等学校 担当教科: 英語

令和5年3月まで岩手県立大槌高校で総合的な探究の時間に関わり、文科省指定事業として、令和元年度～令和3年度「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」、令和4年度～「新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)」に取り組む。探究的な視点を教科にも取り入れることで、教科の学びと探究の学びの往還が生まれることから、これからの学びに重要な観点であるとし、日々の教育活動に試行錯誤を重ねている。

## 大会コーディネーター

柚木 泰彦 東北芸術工科大学 高大連携推進部長  
プロダクトデザイン学科 教授

吉田 卓哉 東北芸術工科大学 教職課程 教授

寒河江 茂 東北芸術工科大学 教職課程 特命教授

渡邊 康太 東北芸術工科大学 地域連携推進課

伊藤 迪子 東北芸術工科大学 地域連携推進課

## MAP

